

令和５年度 三鷹市公立小学校校長会

I 活動方針・重点事項等

先が見えないのならば自分で創る 自立・協働・創造

～ 個と社会のウェルビーイングのためのスクール・コミュニティの創造 ～

- 学校３部制の１部の充実を図るための２部の在り方、全校完全実施
- 不登校・長期欠席児童への支援の在り方
- 三鷹の児童・生徒の資質・能力を育成するための小・中一貫カリキュラムの改定
- 公会計実施元年として運用の進行管理
- コロナ禍終息に向かう様々な対応

II 活動・取組

1 学校３部制における２部の在り方、全校完全実施

学校３部制における２部（放課後の学びの場の充実）については、地域人財、キーパーソンの発掘が校長としての大きな責務である。小学校長会として情報交換を密にし、全校完全実施に向けて取り組む。

2 不登校・長期欠席児童への支援の在り方

不登校・長期欠席児童への支援については、すでに設置されている委員会を軸として、その対策を研修、検討していく。小学校長会からも代表者を選出するとともに、情報交換し、一丸となって取り組む。

3 児童・生徒の資質・能力を育成するための小・中一貫カリキュラムの改定

小・中一貫カリキュラムの改定にあたって、三鷹市の教育が目指す個と社会のウェルビーイングの創造は根幹となるものである。小学校長会として、組織編制、進行管理等、積極的に推進し、児童・生徒の、人間力、社会力に資する資質・能力の育成を目的とした改定を行っていく。

4 公会計実施元年として運用の進行管理

教員の働き方改革も踏まえた給食費等の公会計化の実現は、三鷹市の取組に校長会として感謝するところである。公会計の良さ、成果を実感できるように、校長会として運用を管理するとともに、システムがさらに発展するように積極的に取り組んでいく。

5 コロナ禍終息に向かう様々な対応

コロナの終息を安易にとらえるのではなく、今後も予測困難な状況が起こりうることを想定し、柔軟かつスピーディーな対応ができるように校長会として結束して取り組んでいく。

以上のことを三鷹市公立小学校校長会の活動方針とし、会長を中心に、庶務部、教育課題部、人材育成部、対策部で創意工夫し、主体的に取り組む。また、情報共有を密にし、協働することで、三鷹市１５校が連携し、きずなを深めていく。